

海外交流で洞爺湖をアピール

町内滞在の英国青年も歓迎 駐日イギリス大使と交流会

7月8日(火)、洞爺総合センターにおいてグレアム・フライ駐日イギリス大使を招き「未来の夢、世界との絆プロジェクト」英国青年ボランティアプログラム(洞爺湖サミット推進町民会議主催)が開かれました。

会場には、洞爺高校の生徒をはじめ、洞爺国際交流協会など

のメンバーら約100人が出席しました。

交流会では、大使のテーブルに町内に滞在する英国ボランティア青年のトム・クレイソンさんとグレッグ・ホップスさんが同席。大使の訪問を喜ぶとともにこの日の懇談は良き思い出になったようです。



握手しながら帰路に着く駐日英国大使

この日は地元食材をふんだんに使った昼食会が開かれ、さめぎょうどんや新鮮野菜、天ぷらなどが振舞われたほか、洞爺高校の生徒7人による手作りクッキーも登場し、大使も「おいしいです」と舌鼓を打ちながら交流を深めました。

若手音楽家コンサート 湖上遊覧で聴衆を魅了

7月7日(月)、洞爺湖汽船の遊覧船「エスポール」を会場に国際教育音楽祭「パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)2008」の若手音楽家による「洞爺湖湖上コンサート」が開催されました。このコンサートは、アメリカ、カナダ、中国など9人の若手音楽家が構成、会場には洞爺湖サ

ミット推進町民会議(会長・長崎良夫町長)が町内外から招待した約110人をはじめ、フィリップ・フォール駐日フランス大使とハンス・ヨアヒム・デア駐日ドイツ大使を招き開催。午後2時、湖畔棧橋を出帆した同船の1階フロアでさっそく開演。



湖上でクラシックを楽しむ

メンバーは弦楽四重奏でメンデルスゾーンの「弦楽四重奏曲第3番」長調作品44-1から第1楽章を、金管五重奏では「亜麻色の髪の乙女」などを演奏、集まった音楽愛好家らは洞爺湖の湖上遊覧とともに水辺に響く音色の響宴を楽しんでいました。